

2021年度 外国語学研究科【結果】

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。 KPIとしてベンチマークも計画に入れてください。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
(1)B'sVison2024に基づく学修成果・教育成果向上の改善 ①国際的視点を涵養するための教育力の向上と拡大 ②生涯学習センターとの連携による自律的、自主的学習支援 ③短大以後の卒業生入学を促進、永久サポート大学を目指す ④チューター制度、研修等のストレス耐性を持つ人材育成	①アカデミックライティングの科目の必修化 ②生涯学習センターとの連携講座の実施「新型コロナ時代を映像から読み解く(ウィズコロナのテーマ)」 ③短大卒業生に広報 ④学部のTA雇用によって経済的サポート	80%	①アカデミック・ライティング開設によって院生の国際基準に沿った能力向上が期待される。 ②すべての院生が出席したわけではなかったが、中には熱心な院生がいた。 ③ニーズに沿ったサポートの検討した。 ④支援による経済的ストレスの軽減	①2022年度7名全員が履修中。 ②6回中5回出席した学生がいた。 ③結果、短大卒業生が入学した。	①アカデミック・ライティング科目開設の効果測定の仕組みを検討する。 ②ウィズコロナに合わせハイブリッド授業の形態を検討。 ③卒業生対象の模擬授業の実施。 ④経済的支援の量的拡大の検討。
(2)中・長期的ビジョンに基づく検討と整備 ①中学・高等学校専修免許(英語)取得のための科目の整備 ②データサイエンス教育科目の検討 ③共通科目におけるDX導入の検討	①専修免許取得のための科目開講 ②データサイエンスの科目開講 ③学生のニーズに合わせたオンライン授業の実施	80%	①引き続き専修免許取得のための科目の精査と整備が必要である。 ②データサイエンスの科目開講に続き論文指導に役立てる。 ③オンラインによる授業に加えて、交流会実施に伴うネットワーク構築の必要性がある。		①専修免許取得のための科目の精査と整備を継続しつつ、中学高校での模擬授業を検討する。 ②院生交流会を活用し、統計を使った研究に対する院生指導の実施。 ③オンライン交流会の実施。
(3)文京学院大学の教学の方針を踏まえた計画 ①全学FD・SD研修会を受け自己点検・評価の推進を行う ②外国語学研究科独自のFD研修会の実施 ③年間授業アンケート結果の満足度95%以上を目標とする	①全学FD・SD研修後にPDCAによる自己点検・評価の実施および共有 ②独自のFD研修会を実施した。 ③授業アンケートの満足度は概ね良好。	③満足度の評価が4と5であったので、80%以上	①PDCAサイクル運用を複数の教員共同で実施の必要性がある。		①PDCAサイクル運用を複数の教員で実施。
(4)認証評価結果を踏まえ、収容定員の充足、学生受け入れに求める方針の明確化 ①募集戦略の先鋭化、内部進学者の増大(80%以上)を図る ②APに基づく具体的な学生の受け入れの学習歴、学歴水準、能力の明確化と情報公開	①募集戦略に基づいて内部進学者が増大した。7人中、3人 ②内部進学者の受け入れ基準を策定。	70%	①募集戦略が功を奏し、入学者が増えた。 ②学部ゼミナールとの連携により、内部進学者の受け入れが促進された。	定員充足率が過去最高になった	①引き続き、募集戦略に基づき、定員充足を目指す。 ②内部進学者による4年生対象の説明会を実施。
(5)認証評価結果を踏まえ、学位授与方針と学修成果の関係の明確化を図る ①課題研究、修士論文の評価ルーブリックの策定 ②学位授与方針と学修成果の指標の明確化と情報公開	①課題研究、修士論文の評価ルーブリックの策定。 ②学位授与方針と学修成果の指標を検討し、一部HP公開	80%	①評価ルーブリック策定により、教員評価の客観性を追求する必要性がある。 ②外部進学者の入学促進。		①評価ルーブリックにより、教員評価の客観性を担保する。 ②外部進学者対象の説明会の実施。

2022年度 外国語学研究科

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
(1)B'sVison2024に基づく学修成果・教育成果向上の改善 ①国際的視点を涵養するための教育力のさらなる向上 ②生涯学習センターとの連携による自律的、自主的学習支援の継続。連携講座の内容に共生の理念やSDGsを盛り込む。 ③短大以後の卒業生入学をさらなる促進、永久サポート大学を目指す ④チューター制度の充実化、研修等のストレス耐性を持つ人材育成
(2)中・長期的ビジョンに基づく検討と整備 ①中学・高等学校専修免許(英語)取得のための科目の整備 ②データサイエンス教育指導のシステム化 ③共通科目におけるDX導入の検討
(3)文京学院大学の教学の方針を踏まえた計画 ①全学FD・SD研修会を受け自己点検・評価の推進を行う ②外国語学研究科独自のFD研修会の引き続き実施する ③年間授業アンケート結果の満足度95%以上を目標とする
(4)認証評価結果を踏まえ、収容定員の充足、学生受け入れに求める方針の明確化 ①募集戦略のさらなる先鋭化、内部進学者の増大(80%以上)を図る ②APに基づく具体的な学生の受け入れの学習歴、学歴水準、能力の明確化と情報公開 ③院生交流会の案内や報告をHPやSNSにアップし、研究科の魅力をアピールする。
(5)認証評価結果を踏まえ、学位授与方針と学修成果の関係の明確化を図る ①課題研究、修士論文の評価ルーブリックの実施 ②学位授与方針と学修成果の指標の明確化と情報公開
(6)院生の交流を通じた研究活動の充実化 院生間のネットワーク設立、研究科内の研究交流、共同指導体制の促進、教員間の共同研究推進。